科目名	ベーシックレッスン１							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科サウンドクリエイターコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	田熊知存/川島基宏/須藤直也/杉山航平/古峰拓真/下條慧		教員の実務経験		有	実務経験の職種		作編曲家	

【科目の目的】

プロの作曲家、アーティストになるための知識とスキルを得ることを目的とする。
1年次は基礎知識を中心に自分が作りたい楽曲と向き合い、作曲に必要な技術の土台を形成する。
座学と実技を複合的に捉え、音として再現していくためにどのような思考が必要なのかを個々で能動的に考えられるように、各授業の講師が手助けをしていく。
前期発表会で１コーラスの楽曲を作ることを目標とする。

【科目の概要】

作曲に必要な知識を学ぶための総合的な授業。「作曲ゼミ（週２回）」「作曲法」「ミックス」「アレンジ」「楽器レッスン」「コードアナライズ」の７つの授業で構成される。
下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。
作曲ゼミは個人レッスン、他の授業は全体授業である。

【到達目標】

A. コード進行を作成できる
B. メロディを作成できる
C. 楽曲のミックスができる
D. 楽曲のアレンジができる
E. １コーラスの楽曲を作成できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	機能を考えた上ですべてのコード進行を自分で作成できる		講師の手を借りてコード進行を作成できる		コード進行を作成できない
到達目標 B	全てのメロディを一人で作成できる		講師の手を借りてメロディを作成できる		メロディを作成できない
到達目標 C	適切なボリュームバランスを設定し、用途を言語化できる上でエフェクトを使うことができる		ボリュームバランスが取れるがエフェクトは掛け方が分からない。		ボリュームバランスが取れず、エフェクトも掛けられない
到達目標 D	4rhythmアレンジができ、更に楽器を足したアレンジができる		4rhythmアレンジができる		4rhythmアレンジができない
到達目標 E	一人で１コーラスの楽曲を作成できる		講師の手を借りて１コーラスの楽曲を作成できる		１コーラスの楽曲を作成できない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	ベーシックレッスン1	年度	2026
英語表記	Basic lesson 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	個々のレベルをチェック 自己紹介	1	プレゼンテーション	自分の考えを大勢の前で発表できるようになる		
			2	目標設定	やりたいことを言語化し、明確にすることができる		
			3	ゼミのクラス決め	作りたい曲にあった講師を見定められる		
2	ミックス①	PC、DAWの使い方	1	Macの使い方	MacのUIや操作方法について理解できる		
			2	DAWの立ち上げ方	作曲ソフトの立ち上げ方が理解できる		
			3	楽曲の保存の仕方	プロジェクトファイルをSSDに保存できるようになる		
3	ミックス②	DAWの基本操作	1	MIDIの打ち込み	リージョンを作り、MIDIを打ち込めるようになる		
			2	波形編集	オーディオデータの編集ができるようになる		
			3	インサート	エフェクトをトラックに差し込めるようになる		
4	ミックス③	主要エフェクトの基礎	1	主要エフェクトの種類	EQ,Compressor,Reberb,Delayについて理解できる		
			2	各エフェクトの使用例、意図	上記エフェクトの使用例について理解できる		
			3	各エフェクトのパラメーター	各パラメーターの意味を理解できる		
5	作曲法①	メロディ基礎①	1	リズム	メロのリズムについて理解する		
			2	既存曲のメロディ	既存曲のメロディについて分析できるようになる		
			3	メロディ作成①	４小節のメロディを作れるようになる		
6	作曲法②	メロディ基礎②	1	リフ作成	繰り返しのメロディラインを作れるようになる		
			2	コードに対するメロ作成	指定コード進行にメロディを作れるようになる		
			3	跳躍	跳躍を使ったメロディを作れるようになる		
7	作曲法③	メロディ実践	1	自作曲メロ作成①	Ａメロを作れるようになる		
			2	自作曲メロ作成②	Ｂメロを作れるようになる		
			3	自作曲メロ作成③	サビを作れるようになる		
8	アレンジ①	4rhythmセクション①	1	名称	各楽器の細かい名称について理解できる		
			2	4rhythmの役割	各楽器の役割について理解できる		
			3	リズム	ビートの最小単位について理解できる		
9	アレンジ②	4rhythmセクション②	1	ドラムの打ち込み	ドラムのビートの打ち込みについて理解できる		
			2	ピアノの打ち込み	ピアノのコードやフレーズについて理解できる		
			3	ギターの打ち込み	ギターのコードやフレーズについて理解できる		
10	アレンジ③	4rhythmセクション③	1	ベースの打ち込み	ベースのフレーズについて理解できる		
			2	実践①	4rhythm全体の打ち込み①		
			3	実践②	4rhythm全体の打ち込み②		

11	コードアナライズ①	基礎知識	1	ダイアトニックコード	ダイアトニックコードについて理解できる		
			2	ディグリー	ダイアトニックコードのでディグリーについて理解できる		
			3	譜面	譜面を読むことができるようになる		
12	コードアナライズ②	既存楽曲のコードの分析①	1	ケイデンス①	進行の各コードの機能を理解できる		
			2	ケイデンス②	T,SD,Dの変遷について理解できる		
			3	ドミナントモーション	ドミナントモーションについて理解できる		
13	コードアナライズ③	既存楽曲のコードの分析②	1	Ⅱ→Ⅴ→Ⅰ	トゥーファイブワンについて理解できる		
			2	各種代表的なコード進行	王道進行etc...について理解できる		
			3	各種代表的なコード進行②	王道進行etc...について理解できる		
14	発表会準備	前期発表会に向けて楽曲を仕上げる	1	メロ、コード進行	メロとコード進行の整合性が取れる		
			2	ミックス	FX、ボリュームバランスについて調整ができる		
			3	アレンジ	各楽器のアレンジができる		
15	前期発表会	前期で作った楽曲の発表（１コーラス）	1	プレゼンテーション	自分の楽曲について説明ができる		
			2	知識、技術	各授業で得た知識、技術を楽曲に活かすことができる		
			3	講師評価	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他 自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							

科目名	ベーシックレッスン１							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ギター)　1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	宍倉 聖悟/鳥居 隼/篠崎 保/渡辺 具義/鈴木 一義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バッキング等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「DTM」の７つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

A.楽器の基礎スキルを習得できる
B.イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる
C.リーディング(基礎)を習得できる
D.インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
E.アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	楽器の基礎スキルを習得し、ミスのない演奏ができる		楽器の基礎スキルを習得できる		楽器の基礎スキルを習得できない
到達目標 B	イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得し、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できない
到達目標 C	リーディング(基礎)を習得し、ミスなく進行できる		リーディング(基礎)を習得できる		リーディング(基礎)を習得できない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない

到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	ベーシックレッスン1	年度	2026
英語表記	Basic lesson 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	機材の使用方法を学ぶ	1	機材の名称	主に使用する機材の名称を把握できる		
			2	セッティング	機材の正しいセッティング方法を理解できる		
			3	片付け	正しい手順で片付けられる		
2	専攻実技①	ギターの基礎知識を習得する	1	基本フォーム	ギターの正しい構え方を習得する		
			2	ピックの持ち方	正しいピックの持ち方を習得する		
			3	音の出し方	正しい音の出し方を習得する		
3	専攻実技②	８ビートのコードバッキングを習得する	1	バッキングパターン	基本のバッキングパターンを習得する		
			2	オープンコード	オープンコードバッキングを習得する		
			3	バレーコード	バレーコードバッキングを習得する		
4	専攻実技③	８ビートのアルペジオを習得する	1	アルペジオパターン	基本のアルペジオパターンを習得する		
			2	オープンコード	オープンコードアルペジオを習得する		
			3	バレーコード	バレーコードアルペジオを習得する		
5	イヤートレーニング①	音符(音程)を聞き取る	1	音符	音符の意味を理解できる		
			2	音符の種類	音符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	休符を聞き取る	1	休符	休符の意味を理解できる		
			2	休符の種類	休符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	メジャー、マイナーの響きの違いを理解する	1	メジャーの響き	メジャーの響きを理解できる		
			2	マイナーの響き	マイナーの響きを理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(基礎)①	譜面から情報を読み取る①	1	調	調について理解できる		
			2	拍子	拍子について理解できる		
			3	セクション	セクションについて理解できる		
9	リーディング(基礎)②	譜面から情報を読み取る②	1	五線譜	五線譜について理解できる		
			2	ト音記号	ト音記号について理解できる		

			3	へ音記号	へ音記号について理解できる		
10	リーディング(基礎)③	譜面から情報を読み取る③	1	縦線	縦線について理解できる		
			2	複縦線	複縦線について理解できる		
			3	リピート記号	リピート記号について理解できる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン１							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ドラム)　1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	麻生 祥一郎/崎村 純弥/堀越 彰/山口 岳/藤本 健一/鈴木 一義/渡辺 具義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バッキング等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「DTM」の７つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

A.楽器の基礎スキルを習得できる
B.イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる
C.リーディング(基礎)を習得できる
D.インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
E.アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	楽器の基礎スキルを習得し、ミスのない演奏ができる		楽器の基礎スキルを習得できる		楽器の基礎スキルを習得できない
到達目標 B	イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得し、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できない
到達目標 C	リーディング(基礎)を習得し、ミスなく進行できる		リーディング(基礎)を習得できる		リーディング(基礎)を習得できない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	ベーシックレッスン１	年度	2026
英語表記	Basic lesson 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	機材の使用方法を理解できる	1	機材の名称	主に使用する機材の名称を把握できる		
			2	セッティング	自分に合ったセッティングができる		
			3	片付け	正しい手順で片付けられる		
2	専攻実技①	基礎知識を習得する	1	基本フォーム	ドラムの正しいフォームを習得する		
			2	スティックの持ち方	正しいスティックの持ち方を習得する		
			3	ヒッティング	正しいヒッティングを習得する		
3	専攻実技②	基本ビートを習得する	1	8ビート	基本の8ビートを習得する		
			2	16ビート	基本の16ビートを習得する		
			3	Shuffle	基本のShuffleビートを習得する		
4	専攻実技③	練習法を習得する	1	パラディドル	パラディドルの基礎を習得する		
			2	リズムのノリ	リズムのノリの違いを理解できる		
			3	メトロノーム	メトロノームの効果的な練習法を習得できる		
5	イヤートレーニング①	音符(音程)を聞き取る	1	音符	音符の意味を理解できる		
			2	音符の種類	音符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	休符を聞き取る	1	休符	休符の意味を理解できる		
			2	休符の種類	休符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	メジャー、マイナーの響きの違いを理解する	1	メジャーの響き	メジャーの響きを理解できる		
			2	マイナーの響き	マイナーの響きを理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(基礎)①	譜面から情報を読み取る①	1	調	調について理解できる		
			2	拍子	拍子について理解できる		
			3	セクション	セクションについて理解できる		
9	リーディング(基礎)②	譜面から情報を読み取る②	1	五線譜	五線譜について理解できる		
			2	ト音記号	ト音記号について理解できる		
			3	ヘ音記号	ヘ音記号について理解できる		
10	リーディング(基礎)③	譜面から情報を読み取る③	1	縦線	縦線について理解できる		
			2	複縦線	複縦線について理解できる		
			3	リピート記号	リピート記号について理解できる		

11	ボーカルアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン１							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(キーボード)　1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	金沢 法皇/田中 綾美/二本柳 一明/Ryuta/鈴木 一義/渡辺 具義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バッキング等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「DTM」の７つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

A.楽器の基礎スキルを習得できる
B.イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる
C.リーディング(基礎)を習得できる
D.インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
E.アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	楽器の基礎スキルを習得し、ミスのない演奏ができる		楽器の基礎スキルを習得できる		楽器の基礎スキルを習得できない
到達目標 B	イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得し、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できない
到達目標 C	リーディング(基礎)を習得し、ミスなく進行できる		リーディング(基礎)を習得できる		リーディング(基礎)を習得できない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない

到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	ベーシックレッスン１	年度	2026
英語表記	Basic lesson 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	機材の使用方法を理解できる	1	機材の名称	主に使用する機材の名称を把握できる		
			2	セッティング	機材の正しいセッティング方法を理解できる		
			3	片付け	正しい手順で片付けられる		
2	専攻実技①	基礎トレーニング	1	基本姿勢	キーボードの正しいフォームを習得できる		
			2	右手	右手の運指を理解できる		
			3	左手	左手の運指を理解できる		
3	専攻実技②	コードについて理解する	1	3和音	3和音について理解できる		
			2	4和音	4和音について理解できる		
			3	押さえ方	基本形～転回形の押さえ方ができる		
4	専攻実技③	音色の違いを理解する	1	リードシンセ	リードシンセの音色について理解できる		
			2	ストリングス	ストリングスの音色について理解できる		
			3	オルガン	オルガンの音色について理解できる		
5	イヤートレーニング①	音符(音程)を聞き取る	1	音符	音符の意味を理解できる		
			2	音符の種類	音符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	休符を聞き取る	1	休符	休符の意味を理解できる		
			2	休符の種類	休符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	メジャー、マイナーの響きの違いを理解する	1	メジャーの響き	メジャーの響きを理解できる		
			2	マイナーの響き	マイナーの響きを理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(基礎)①	譜面から情報を読み取る①	1	調	調について理解できる		
			2	拍子	拍子について理解できる		
			3	セクション	セクションについて理解できる		
9	リーディング(基礎)②	譜面から情報を読み取る②	1	五線譜	五線譜について理解できる		
			2	ト音記号	ト音記号について理解できる		
			3	ヘ音記号	ヘ音記号について理解できる		

10	リーディング(基礎)③	譜面から情報を読み取る③	1	縦線	縦線について理解できる		
			2	複縦線	複縦線について理解できる		
			3	リピート記号	リピート記号について理解できる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン１							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科ヴォーカリストコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	尾崎 久美子/横山 愛実/大山 桂祐/MALIYA/大森 裕斗/三上 かおる/Haruna/鳥居 隼/渡部 紗矢/田中 綾美/鈴木 一義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン他	

【科目の目的】

プロのボーカリストとして必要不可欠な基礎力を身につけ、アーティストとして自立するためのスキルを習得します。基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する知識を学び、シンガーソングライター、バンドボーカリスト、弾き語りなど一人ひとりのスタイルに合わせたトレーニングを実施。また、各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【科目の概要】

この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の７つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。※楽器レッスンは「Dance」「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。

【到達目標】

A.ボイスエクササイズを実践できる
B.発声のタイプとメカニズムを理解できる
C.ステージ上の音量バランスを調整できる
D.3声のコーラスワークができる
E.発表会でベストパフォーマンスできる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	ボイスエクササイズを実践でき、日常的に継続できる		ボイスエクササイズを実践できる		ボイスエクササイズを実践できない
到達目標 B	発声の基本的なメカニズムを理解でき、簡潔に説明できる		発声の基本的なメカニズムを理解できる		発声の基本的なメカニズムを理解できない
到達目標 C	ステージ上の音量バランスを調整でき、細かい指示を出せる		ステージ上の音量バランスを調整できる		ステージ上の音量バランスを調整できない
到達目標 D	3声のコーラスワークができ、周りとのバランスを意識できる		3声のコーラスワークができる		3声のコーラスワークができない

到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる		発表会でベストパフォーマンスできる		発表会でベストパフォーマンスできない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	ベーシックレッスン1	年度	2026
英語表記	Basic lesson 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1	パフォーマンス	ステージでベストパフォーマンスができる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講師からの講評	自分の課題を発見できる		
2	ボーカルレッスン1①	自分の歌声について知る	1	声域チェック	自分の声域を把握できる		
			2	歌声の特徴	自分の声を録音し、声の特徴を把握できる		
			3	目標設定	ボーカリストとして目指す方向性の設定ができる		
3	ボーカルレッスン1②	歌う前のウォーミングアップ	1	リップロール/タングトリル	リップロールとタングトリルをスムーズにできる		
			2	ポルタメント	ポルタメントをスムーズにできる		
			3	ストレッチ	歌う前の適切なストレッチが出来る		
4	ボーカルレッスン1③	基本的な発声トレーニング	1	正しい姿勢と脱力	正しい姿勢と脱力ができる		
			2	ボイスエクササイズ	それぞれに適したボイスエクササイズを実践できる		
			3	継続	ボイスエクササイズを通して安定した発声ができる		
5	ボイストレーニング①	声帯について学ぶ	1	声帯の位置	声帯の位置について理解できる		
			2	声帯の筋肉	声帯の筋肉の種類について理解できる		
			3	ボーカルフライ	声帯の位置を実際に感じ取ることができる		
6	ボイストレーニング②	様々な発声のタイプについて学ぶ	1	発声のタイプ	ライトチェスト/フル/ブリッフなどのタイプを理解できる		
			2	地声と裏声	地声と裏声の違いを理解できる		
			3	男女の音域	男女の音域の違いを理解できる		
7	ボイストレーニング③	様々な発声のメカニズムについて学ぶ	1	チェスト	チェストボイスのメカニズムを理解できる		
			2	ヘッド	ヘッドボイスのメカニズムを理解できる		
			3	ミックス	ミックスボイスのメカニズムを理解できる		
8	ボーカルアンサンブル①	課題曲練習	1	発声練習	発声練習によるウォームアップができる		
			2	課題曲理解	課題曲のメイン、コーラスラインを理解できる		
			3	講師指導	歌唱表現、リズムの意識などを理解できる		
9	ボーカルアンサンブル②	アンサンブル発表会のリハーサル	1	モニターバランス	モニターの音量と向きを調整できる		
			2	バンドの音量	ステージ上の楽器の音量バランスを調整できる		
			3	グルーヴ	生バンドのグルーヴを感じ取ることができる		

10	ボーカルアンサンブル③	アンサンブル発表会のパフォーマンス	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
11	コーラス①	課題曲練習	1	聞き取り	周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインを聞き取れる		
			2	ハモリ	メロディーを聞き頭の中でハーモニーラインを鳴らすことができる		
			3	実演	グループでのコーラスワークができる		
12	コーラス②	コーラスワークについての理解を深める	1	表現	楽曲を理解し、オブリガードやウーアーをつけることができる		
			2	構築	声のブレンディングとハーモニーの構築ができる		
			3	ジャンル	ポップ、ジャズ、ゴスペルに触れそれぞれの表現を実践できる		
13	コーラス③	アンサンブルでのコーラスパフォーマンス	1	パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる		
			2	批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3	講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
14	発表会準備	発表会の準備をする	1	パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる		
			2	歌唱指導	歌唱について改善できる		
			3	オケ制作	使用するオケを制作、準備できる		
15	発表会	発表会を実施する	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン１						年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1						学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ベース)　1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	上野 一郎/橋本 佳紀/鈴木 一義/渡辺 具義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バッキング等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「DTM」の７つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

A.楽器の基礎スキルを習得できる
B.イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる
C.リーディング(基礎)を習得できる
D.インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
E.アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	楽器の基礎スキルを習得し、ミスのない演奏ができる		楽器の基礎スキルを習得できる		楽器の基礎スキルを習得できない
到達目標 B	イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得し、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できない
到達目標 C	リーディング(基礎)を習得し、ミスなく進行できる		リーディング(基礎)を習得できる		リーディング(基礎)を習得できない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	ベーシックレッスン１	年度	2026
英語表記	Basic lesson 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	機材の使用方法を理解できる	1	機材の名称	主に使用する機材の名称を把握できる		
			2	セッティング	機材の正しいセッティング方法を理解できる		
			3	片付け	正しい手順で片付けられる		
2	専攻実技①	基礎知識を習得する	1	基本フォーム	ベースの正しいフォームを習得する		
			2	ピックの持ち方	正しいピックの持ち方を習得する		
			3	音の出し方	正しい音の出し方を習得する		
3	専攻実技②	指弾きを習得する	1	ツーフィンガー奏法	ツーフィンガー奏法を習得する		
			2	8ビート	8ビートを習得する		
			3	16ビート	16ビートを習得する		
4	専攻実技③	ピック弾きを習得する	1	アルアイレ奏法	アルアイレ奏法を習得する		
			2	アポヤンド奏法	アポヤンド奏法を習得する		
			3	ゴーストノート	ゴーストノートを習得する		
5	イヤートレーニング①	音符(音程)を聞き取る	1	音符	音符の意味を理解できる		
			2	音符の種類	音符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	休符を聞き取る	1	休符	休符の意味を理解できる		
			2	休符の種類	休符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	メジャー、マイナーの響きの違いを理解する	1	メジャーの響き	メジャーの響きを理解できる		
			2	マイナーの響き	マイナーの響きを理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(基礎)①	譜面から情報を読み取る①	1	調	調について理解できる		
			2	拍子	拍子について理解できる		
			3	セクション	セクションについて理解できる		
9	リーディング(基礎)②	譜面から情報を読み取る②	1	五線譜	五線譜について理解できる		
			2	ト音記号	ト音記号について理解できる		
			3	ヘ音記号	ヘ音記号について理解できる		
10	リーディング(基礎)③	譜面から情報を読み取る③	1	縦線	縦線について理解できる		
			2	複縦線	複縦線について理解できる		
			3	リピート記号	リピート記号について理解できる		
			1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		

11	ボーカルアンサンブル①	課題曲について理解する	2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等